

民間救急どう普及

NPOなどがセミナー 夕張

【夕張】病人を市民や民間事業所が福祉車両などで病院に運ぶ「民間救急」の普及を図る「市民救急搬送セミナー」（日本NPO救急搬送連合会主催）が二十三日、夕張市老人福祉会館で開かれた。

119番通報による救急出動の負担軽減が課題となる中、民間救急の普及を目指すのが目的。日赤道看護大の

中岡良司教授は基調講演で「障害者らの福祉輸送を行うNPO法人などから民間救急の需要が高まり、国がそれを後押ししている」と現状を説明した。

続くシンポジウム「民間救急の将来像を探る」では夕張、札幌の両市救急担当者が、救急車出動一回に全国平均で七万円超の経費が掛かり、九割が命に別条がない一などの現



状を報告し「民間と協力したい」と述べた。民間救急に取り組む札幌のNPO法人「ホ

訴えた。（太田一郎）

民間救急の将来像を話し合ったシンポジウム
……
ツプ障害者
地域生活支援
援センター
」の竹田
保代表は
「みんな
協力し安全
・安心を支
えたい。多
くの市民・